

代々木病院の理念

ヒューマニズムにもとづく医療・介護の実践

くらしと健康

No. 629 2020年 3月号 1部60円 友の会会員は会費に含まれています 発行 東京勤労者医療会代々木病院 院長 河邊 博正 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-30-7 TEL 03(3404)7661 http://www.tokyo-kinikai.com/yoyogi

紹介 代々木病院のリハビリテーション

身体の状態を良くすることと自宅で快適に生活できる環境を整えます

代々木病院では、地域包括ケア病棟(3階病棟)、回復期病棟(4階病棟)、障害者病棟(5階病棟)と3つの病棟があり、様々な病状、背景を持った患者さんに対してリハビリテーション(以下、リハビリ)を提供しています。代々木病院のリハビリについて、リハビリテーション科医長の小谷博史医師にお話しを聞きました。

3階病棟では、自宅で療養して、肺炎・尿路感染症などにより治療が必要になった患者さんの治療・リハビリを行っています。ここではリハビリにかける時間は多くはないのですが、少ないスタッフが工夫して効率的なリハビリを行え

回復期病棟は自宅で生活できるのが目標

以下では私が働いている4階の回復期病棟について説明していきます。回復期病棟では大病院などの急性期の病院で脳卒中、骨折などの治療



小谷博史医師

言語聴覚士(ST)看護師、薬剤師、介護福祉士、医療ソーシャルワーカー、歯科衛生士、リハビリテーション科医と多数で、チームとしてリハビリにあたっています。頻度の高い病気は、脳卒中、骨折です。リハビリ



脳卒中のリハビリで使用する装具です

必要な環境を整える 自宅です生活する上で、身体の状態をよくすることだけでなく、患者さんが自宅で生活する上で



回復期病棟カンファランスの様子

スタッフ皆で患者さんを通じて学び、経験を積んで、より良いリハビリを提供できるようこれからも努力していきます。

千駄の萱

病院がある千駄ヶ谷は日本ではもちろんのこと世界中で注目されている。オリンピック、パラリンピックまであと146日、そして病院北側に広がる新宿御苑は首相主催の「桜を見る会」の舞台である▼56年前の東京オリンピックで競技場を建設するために、地域の人々をそこに住まわせるために建設した都立霞ヶ丘アパート。今度のオリンピックで新国立競技場建設のため追い出され、取り壊された▼住民の移転反対の声に、国は都が計画したといい、都は国の事業と言って聞く耳持たないまま競技場の新築工事は進められた。追い出された住民は400人▼一方「桜を見る会」では首相が6000人を公費で招待した疑惑が出ている。予算の3倍も使っていた▼歴史を重ね、終のすみ家となっていた400人を追い出し、気に入った人たち6000人は無償で招待する、イエスマンだけしか見えていない首相を許せない▼今回のオリンピックにはこうした犠牲があり、世の中の矛盾が集まった場所で開催されることを忘れずにいたい。選手たちの素晴らしいパフォーマンスに期待しつつ。(み)